

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域社会の一員として」安心して過ごせるという地域密着型サービスの趣旨を反映させた理念や、すこやか基本倫理に基づき実践に努めている。			すこやか基本倫理10カ条を新人オリエンテーション時には必ず説明し日頃のカンファレンス等で方向性を再確認しながらケアをすすめる
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入し、地域の行事には積極的に参加していた。今年度は地域の夏祭りが開催されたが体調不良者が多く参加を見合わせた。コロナ禍により地域の方々との交友は出来ていない。	現在もインフルエンザ、コロナ感染と施設に持ち込む可能性が充分ありなかなか交流が出来る状況になるのは難しい現状である		感染症に関しては状況判断を行い法人にて再検討し可能な限り交流の場を増やす
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況及びサービス提供状況を報告し、意見交換を通して毎月の振り返りを行い、現状理解とアクシデントのアドバイスをもらっている。近隣グループホームの管理者にも参加してもらい情報を共有している。	入居者様の参加は難しいと思われるが会議はほぼホールが見え声かが聞こえる位置にあり状況を見てもらいながら会議が出来ている。		家族参加や入居者様参加の機会を再開する
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者とは書類手続きやサービス提供に関し気軽に相談できており、意見交換をしながらサービスの向上に取り組んでいる。特に運営推進会議ではこちらの現状や意見など良く聞いてもらっている。	質問に関してはメールやファックスなのでなかなか積極的な関係作りは出来ていない状況である		しっかりとした運営が出来るように分からない事は確認を取り運営を行うようにする
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関施錠は夜間のみ。入居者の人格を尊重したケアが行えるよう職員会議や勉強会を通して説明し、ホームの出入り口には、センサーを設けて入居者様の安全に配慮し施錠はしていない。委員会活動の中でも気になる言葉など意見が言える環境を目指している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会活動を通してさらなる職員の理解を継続し気持ちや考えが間違わないようにすすめていく
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議や勉強会を通し、抑制や虐待について考え、個々の対応を振り返り、情報を共有しながら、職員一人ひとりが意識したケアにつながるよう注意を払い防止に努めている。言葉による抑制に関しては虐待防止委員会と共にカンファレンスの中で意見を出し合うようにしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会活動を通じて年間目標を立てさらに虐待について考える機会を増やし虐待防止に努める
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な方がいらした場合には支援していきたい。内部学習を通じて権利擁護に関しても学ぶようにしている。			虐待、身体拘束、権利擁護は基本的理念をしっかり理解し更により良いケアに繋げていく

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約は、十分な説明を行った上で、ご家族の同意を得ている。その後の改定等の契約については、事前にお知らせをし署名・捺印を頂いている			今まで通り契約書、重要事項説明時に家族も不安や不明な点がないように説明をしっかりと行う。また入居されてからも分かりやすい説明を目指す
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者からの訴えは些細な事でも耳を傾け、都度職員間で検討している。ご家族には電話、面会時あるいはケアプラン更新時に現状説明を行い、要望や気持ちを確認し解決に向け多職種との連携を図っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン更新、見直し時アセスメントやモニターリングを行い入居者様の声を確認し職員と検討しプランに生かしていく
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	合同会議や日々のカンファレンスを通じて職員からの意見を聞くようにし、改善点等は皆で検討し解決策をみつけ実施している			日頃から職員の意見をよく聞き検討できる環境を継続していく
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課による自己評価をそれぞれ行い、職員がどう感じているか把握。年1回の面談やストレスチェックを行い職場環境・条件の整備を行い、柔軟な勤務体制に努めているが各自が向上心を持ち働いているとは限らない		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課や管理者以上の上司を含め面談の機会を設け、日頃の頑張りを充分評価する
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内学習のほか、外部研修への参加、毎月の勉強会や職員会議を通して、日常のケアを確認しながら、その都度必要に応じて指導を行い、職員育成に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々入居者様との会話を大切にし、どうしたいのか常に確認を行う事を忘れず、認知症の方でも気持ちが変わる事があっても本人の気持ち優先に職員にカンファレンスを通じ展開し考える力を構築していく
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣のグループホーム間で、運営推進会議への相互参加を行い意見交換を行っている。また、日置市連絡協議会の研修参加や連絡会での交流や意見交換が出来ており、質の向上に取り組んでいる。			今後も継続しサービス向上に努める
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴を出来るだけ聞き取り、言葉かけを行い、傾聴、会話に努める。入所初期は不安を最小限に抑えられるように、知りえた情報を共有するよう努めている。			出来る事、出来ない事、不安はないか常に寄り添う姿勢を持続する
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族が希望すれば馴染みの美容室などに行かれている。面会に関しては玄関での面会は出来ているが面会に制限があるためご家族以外出来ていない状況。	玄関での家族面会のみなので関係を継続するのは難しい状況		感染症に関しては状況判断を行い法人にて再検討し可能な限り関係性が途切れないように支援する

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様1人1人の想いを受け止め、ご家族から生活歴などを聞くように努めている。情報は職員間で共有し、会話の中で内容が深まるように努めている。			入居者様がどうしたいかを一番に考え職員の考えを押し付けない介護を目指し1日が有意義な時間になるように努める。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリングを元に会議で職員から意見をもらい計画を作成。日々の問題点を職員間で検討し、必要に応じモニタリングを実施。家族へ報告し了解をもらい介護計画に反映させている。	ほぼ毎日10分カンファレンスを行いスタッフ間で問題点や検討を行っているので意見が反映されていると思う	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のカンファレンスを充実した内容にし介護計画に反映させる
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の気づきや、実践、結果等を個人ファイルに記録。日誌や送りノートやモニタリングの確認で情報を共有し、介護計画の見直しに繋げている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の記録は本人の言葉までしっかり入力し出勤時は確認を行い送送りを継続しケアに繋げる
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調不良時の病院受診。食事形態の変更や徘徊者への対応、買い物支援、要望に応じて都度の対応を検討し、スタッフ全員でその場に応じた対応に取り組んでいる。	日々変化がある状況なのでその場その場で対応策を検討し出来る限りの事を行っている。		要望に応じ出来る限りの対応を継続していく
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	慰問、ボランティアは全く呼べず交流の場が途絶えた。ホームの中で出来る事を行い、生活動作を増やし楽しみややりがいを増やしてきた。	出かけられない分施設の中での活動を生活動作の中に出来るだけ取り込むようにしている		感染状況を踏まえ外部の力も借りたり外出の機会を設けたり日々に取り組みや生活の中で豊かな生活が出来るように目指す
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力病院看護師による毎週火曜日の訪問にて体調面の相談を行った。毎月行う定期受診や体調不良時の状態など、入居者の状況を理解してもらい主治医への伝達も必要に応じ対応してもらっている。			毎週の訪問看護で主治医との連携を継続し必要に応じ受診を支援し健康を維持していく
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、またできるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は、医療機関にADLや認知症状の留意点などの情報を現場に提供し、入居者様に混乱がないように努めている。入退院連絡会議に参加し医師や相談員との連携を図り早期に退院できるように支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医との連携を図り早めの受診や入院4にて健康管理を維持する。入院した場合は病院との協力を図る
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プラン見直し時に本人の状態について家族に報告。家族の希望を聞き、重度化や終末期に向けた方針の共有を図り、医療連携を図りながら出来るだけ最後まで、本人らしい生活が出来る様に細かいケアに職員全員で取り組むよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人らしい生活が出来るように職員全員で取り組む

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急対応について、職員会議や勉強会等に取り入れているが、定期的な職員の訓練まではなかなか行えていない。夜間対応については協力病院と連携し、電話連絡を行い指示をもらうようにしている。			職員全員が状況を判断し協力病院への連絡や救急搬送の手順を学ぶ機会を設ける
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者参加で年2回日勤帯、夜勤帯想定にて防火訓練を実施しているが、本年度は地域の方の参加は出来なかった。自然災害においては様々なパターンのマニュアル作成や検討がまだ必要と思われる。	様々なパターンの訓練が出来るようにしたい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCPにおいては職員と想定を考えどのような対応をしていくか自分たちで動ける力を考える
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議や勉強会にて、その時々で場面での、自尊心を傷つけないように指導。常に職員間でも一人一人を尊敬する心で接するよう指導し、不適切な言葉遣いが聞こえた場合は説明指導を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切な言葉使いに気づき、何故そのような言葉になったのかを常に考え伝える
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には、日課に沿った生活ではあるが、1人1人の意向に合わせ、無理強いしないよう言葉かけを行い、希望があれば可能な限り対応し支援している。			入居者様の考えや性格を理解し出来るだけ希望に添えるように支援する
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目の届く範囲で食事を摂り、レクや会話の中で嗜好を把握し、季節の食材など提供し喜んでもらえるように努めている。食べやすい食事提供に努め、後片付の手伝いに参加してもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節や嗜好を尋ね出来るだけ食べたい物を提供し、出来る範囲の手伝いを願う
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月初め1週間の水分チェックにて平均摂取量を把握し、体重測定を施行。毎食後食事摂取量の確認を行い、摂取量が少ない時は工夫をしたり、医師、家族に相談し補助食品等の提供も行っている。			食事量や体重チェックをこのまま継続していく
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを促し介助が必要な方には、最後まで付き添い義歯洗浄剤の定期的な使用等で口腔内の清潔保持に努めている。必要に応じ訪問歯科や歯科受診を家族と相談し行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケア時に一人一人の能力に応じ確認を行い口腔衛生に努める
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表により1人1人の排泄パターンを把握し、出来るだけ失禁にならないように時間誘導や言葉かけを行い気持ちよく排泄が出来るように支援している。また必要に応じ尿測等のモニターリングを行いパットの種類などを変更して出来るだけ汚染が少なくてすむように支援行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し本人の自尊心を傷つけないようなケアに努める

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に添えない日もあるが、入浴時間の範囲内で順番や時間など柔軟に対応している。状況に応じ入浴剤を使用し出来る動作は極力行ってもらい、入浴中はプラスの感情が残るように会話をし次回入浴に繋がるように心がけている。			清潔が保てるように順番など本人の希望に沿ったケアに努めていく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調、気分に合わせて居室やホールの過ごしやすい場所で自分の思い通り生活してもらう事で、夜間も落ち着いて臥床出来るように支援している。寝具の清潔や室温にも気を配っている。			寝具は順番で洗濯や布団干しを行い清潔な寝具で休んでもらえるように支援を継続していく
34	服薬支援	一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申し送りや勉強会等を行い、服用初期の経過観察に努め、薬の変更等は申し送りを行い変化確認に努めている。経過に関して医師との連携を図っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師との連携を継続し日頃の健康観察を行い個人の薬についても常に把握を目指す
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の会話や家族からの情報をもとに、生活歴を知り興味を持てる事や得意な事を考慮し、今までの生活習慣を活かし有意義な一日になるよう支援に努めている。			出来る事の見極めを行い入居者一人一人が出来る喜びを感じられるように支援する
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時、その日の希望に全て添う事は難しいが、外へ行こうとされる方には屋外と一緒に行き納得のいく対応を行っている。本年度はコロナの影響で屋外行事や外出が出来なかった為天気の良い日は散歩出来るだけ行った。	帰宅の要望があれば出来る限り外出が出来るようにご家族に依頼したり行事では車で出かける事もたまにある。散歩はすぐに対応出来るので天気の良い日気候の良い時期は出来る限り出かけている		感染状況等で変化はあっても短時間の家族と外出をして頂いたり、施設の中で外出支援を行う
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人で所持金はないが、購入希望があれば家族からお金を預かり、能力に応じ一緒に店に行き、必要物品購入の支援を行っている。本年度はコロナにて一緒に買い物に行く事は出来なかった。			所持金はないが欲しいものがあれば一緒に買い物に行けるように支援したり家族と外出の際に購入出来るように家族との連携を取る
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次ぎも行い、自分でかけたいとの希望があれば、対応を行っている。携帯電話を所持される方もいたり、年賀状作成や手紙の投函を頼まれれば行っている。			年賀状作成は毎年行い必要に応じ電話対応も継続していく
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自席やソファで過ごせる居場所があり、本や新聞、テレビ、音楽など自由に観賞できる。また、気の合う方との会話やテーブル配置も工夫し、タイミングを見て声かけにて他者との会話を繋いだりして、居心地の良い空間づくりに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の壁画で季節を味わい清掃をしっかり行い、常に落ち着ける環境を提供する

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日課を伝えながらその方の気持ちを確認し無理強いする事なく出来るだけ意向に沿えるようにしている。			無理強いすることなく本人の希望に叶うようなケアを行う
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の状況や性格を把握し本人が喜ぶ情報等を会話に取り入れ支援を行っている。			一人一人の特徴を踏まえ支援を行う
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期受診、定期検査、訪問診療を行ってもらいながら対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期受診、定期検査、訪問診療を継続支援していく
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日課を伝えながら出来るだけ本人のペースで生活してもらっている。			自分の思いを伝えられるように支援し出来るだけ自分のペースを大切にしていく
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に使い慣れた物を持ちこんで頂くように声かけを行っている。本人にとって使い慣れた物ばかりではないが、家具などの配置は動きやすく安全な動線に配慮。落ち着いて生活が出来るよう必要があれば時々配置換えも行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの居室は自分の思い思いの物を出来るだけ置けるように支援する
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の希望する時、に対応は出来ていない。	なかなか難しい状況でありと外野行事参加は難しい状況		家族との外出を支援する
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせ、居室ドアに大きく名前の表示を行ったり、トイレや洗面所、居室など、目印や案内をして一人で出来るだけスムーズに動けるように工夫している。			ユニット全体で皆同様に楽しく生活出来るように配慮する
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テーブル席は各々会話のレベル、性格等に合わせ判断。新聞やテレビを見なが世間話をしたり、制作活動や食材の下ごしらえなど出来る事を、やりたい、やってもいいと言われる方に依頼。役に立っている事、感謝している事を言葉で伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う方と会話が出来るように支援する

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	殆ど交流は出来ていない	出来ていない		自分で行う事は難しいがボランティアの受け入れなど今後は状況をみながら判断していく
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の中では認知症を感じさせない生活が送れていると思う。	否定的な発言はさけ出来ていなくても間違っ ていても困らないようにフォローをして安心出 来るように声掛け行う	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの環境を整え施設の中では困ったが ないように支援していく